



Inabe city

いなべ市

養老山地と鈴鹿山脈に囲まれた自然豊かな三重県最北端のまち。
ものづくりを中心に農と食、アートとクラフト、自然とアウトドアが呼応する。

※東洋経済新報社による「住みよさランキング2024」で全国48位、三重県内1位を誇る



人口 / 約45,000人

面積 / 約220km²

森林率 / 約58%

製造業割合（従業員） / 約56%



非公開スライド

Green Creative Inabe

グリーンクリエイティブいなべ

地域資源
Local resources

磨きあげる
Local sense

グリーンクリエイティブ いなべ

平成25年（2013年）から掲げられている、いなべ市のまちづくり理念

豊かな自然、里山、農産品などのローカル資源「グリーン」。
それを「ローカルセンス」で磨き、都会の人たちを魅了するモノ・コト・トキを創造する。

Company Profile

概要

会社名 - 一般社団法人グリーンクリエイティブいなべ

設立 - 2020年4月1日

代表理事 - 岡正光 (いなべ市 前副市長)

常務理事 - 1名 / 理事 - 4名

従業員数 - 12名(パート含む)

所在地 - 三重県いなべ市北勢町阿下喜3 1 いなべ市役所2F

いなべで輝く主人公たち「点」をつなぎ、いなべを一つの「面」として
まちの価値を高め、プロデュースしています

非公開スライド

Company Mission

使命

いなべ市の市内回遊促進、農業・商業振興、生業支援、移住促進、市民協働促進、持続可能なまちづくりといった多様な行政課題を理解し、各行政部門と連携可能な公共性の側面と、スピードと柔軟性をベースに広く市民感覚と顧客目線を取り入れる企業性の側面を併せ持つまちづくりの組織です。

GCIの使命

- － 地域に「生業」を創出し、自分らしい暮らしづくりを応援します。
- － 行政・地域・企業と効果的に連携し、それぞれの強みを活かして地域を活性化します。
- － 社会課題に向き合い、ビジネスの視点から解決につなげます。
- － さまざまな人々の声が反映される組織とします。
- － 自らも挑戦し、持続的に発展し続ける組織とします。

いなべ市 委託業務

① 啓発イベント業務

いなべ市グリーンインフラ推進基本方針に基づき、地域の自然資源を活用したイベントを実施し、グリーンインフラの啓発を図る。

② グリーンインフラ情報発信業務

市民が市内でグリーンインフラの取り組みを行う際活用できる情報を提供するため、パンフレットを作成する。

③ にぎわいの森グリーンインフラ機能向上整備業務及び、効果測定調査業務

にぎわいの森及び庁舎周辺において、計画的に植栽を再整備し、快適な緑の滞在空間を生み出すことで、防災・減災機能の向上、酷暑への対応、訪問者のウェルビーイングの向上を図ることを目的とする。

地域連携事業

① 人材育成事業

地域の自然資源を暮らしや活動に活かすことが出来る人材育成研修

いなべ市 委託業務 - ① 啓発イベント業務

グリーンインフラ推進基本方針に基づき、地域の自然資源を活用したイベントを実施し、グリーンインフラの啓発を図る。

InabeGreenLab.2025 イベント の実施 対象：市内子ども（主に未就学児）とその保護者

以下、実施目標

- 自然体験（自然の中でのあそび）を通して、地域の自然の魅力や価値への気づきにつなげる。
- 市内の子どもたち（主に未就学児）や保護者が格差なく本物の体験活動に触れ、地域での自然体験や遊びを自発的に行うきっかけにつなげる。
- 市民や市民団体等と協働し、地域の自然資源やフィールドを活用した体験を提供することで、グリーンインフラ推進に伴う啓発活動を行う。
- 本イベントを通じて、まちづくりに貢献する人材育成、長時間滞在を促すコンテンツの創出を行う。



5/31(土)

6/1(日)

東京おもちゃ美術館が
いなべにやってくる!



木育キャラバン in いなべ

～触れて遊べる木のおもちゃのイベント～

約300種類の国産材を中心としたおもちゃで自由に遊ぶことができます。
親子でコミュニケーションがとれるおもちゃもあり、赤ちゃんから大人まで楽しんでいただけます。



日程 令和7年5月31日(土) 10:00-16:00
令和7年6月1日(日) 10:00-15:00

場所 大安スポーツ公園体育館
(三重県いなべ市大安町大井田 2704)

申込み 不要、費用無料、参加資格特になし、
どなたでもご参加いただけます。

注意
※託児には対応していません。母子室、オムツ替え室は「大安公民館」(木育キャラバン会場から徒歩2分)に設置を予定しています。
※スリッパはありません。必要な方は室内用の履き物をお持ちください。

企画協力 特定非営利活動法人芸術と遊び創造協会

体験・ワークショップ

木の手ざわりを親子で感じられる体験型コーナーや、
親子で参加できるワークショップも開催!

5/31(土)・6/1(日) 両日開催

木のミニボンボンボール作り 親子約・参加費 300円

大工さんの削る木の「かなな削」を束ねてふわふわボンボンボールを作ります。

予約はこちら



木もくもくパッジ作り 親子約・参加費 300円

家づくりや家具作りの中で生まれる様々な形と色の木っ端を組み合わせてオリジナルパッジをつくります。

6/1(日) 開催

くむんだー 無料・自由参加

国産材の柱と構材を、木のくさびとどこからでも組み上げ遊べる「くむんだー」。昔ながらの大工仕事に触れながら、木のぬくもりを感じられるジャングルジムです。

トントントン釘打ち体験 無料・自由参加

金づちを使った本格的な釘打ち体験。

企画協力 トオオ五輪店

写真は開催イメージです。

集まれこどもたち!

木のおもちゃや川で遊ぼう!

自然に触れる2日間

5/31(土) 6/1(日)

同時開催!

《木育キャラバン in いなべ》
《InabeGreenLab.2025「川で遊ぶ日」》

5/31(土)

Inabe
Green
Lab.

2025

Inabe Green Lab.2025「川で遊ぶ日」

～春の川遊びいろいろやってみよう～

新緑が美しく春の植物たちはさらに鮮やかに、彩り溢れる季節。
5月末、初夏の河原で水・石・土・木・火などを使った体験や自然のもので自由に遊びましょう。山や川、地域とのつながりを感じることができる食の出店も予定しています!どうぞお楽しみに。



写真は開催イメージです。

日程 令和7年5月31日(土) 10:00-15:00頃まで
※雨天開催/荒天中止

場所 旧大安庁舎周辺 宇賀川 弁天橋付近
(三重県いなべ市大安町大井田 2704)

駐車場 いなべ市大安公民館 [いなべ市大安町大井田 2704] の
駐車場をご利用ください。

申込み 不要、費用無料、参加資格特になし、
どなたでもご参加いただけます。

注意
※託児には対応していません。母子室、オムツ替え室は「大安公民館」(会場から徒歩5分)に設置を予定しています。



地域連携業務 - ①人材育成事業

人to暮らしto自然toつながるLab.

自然の中での体験を自分の暮らしに生かせる人・次世代に伝える人づくりを目的とした研修プログラム。フィールドは、いなべ市。自然の中で「教わる」「学ぶ」というよりも、自ら「探求すること」のはじまりになるようお願いを込めて。2023年からLab.（研究室）をスタート。



講師 **才賀 美奈 - SAIGA MINA**

おさんぽの会ててて／いっしょに子育て親育ちなないろのわ代表
ジャパンアウトドアリーダーズ受賞



講師 **田端 昇 - TABATA NOBORU**

パーマカルチャーデザイナー
木こり

地域連携業務 - ①人材育成事業 - 人to暮らしto自然toつながるLab.

テーマ：『春の河原を心地よく、どうつくる？どうあそぶ？』

- **春の川遊びいろいろやってみよう**

山と川とのつながり、春の川の特徴、河原であそび心をよびさます。

- **草刈り、剪定**

その場をどうしていきたいか、草とどう付き合っていくかを考える。利用目的や土地の状態に応じた草の刈り方など。

- **タープ張り、ペグづくり**

基本の張り方をやってみる、強風時のアレンジ、デザインについて考える[人の動き、太陽の動き、視界、強調したい風景など。

- **お昼ご飯づくり**

現地で採取した植物でお茶をたのしむなど。



R7年度 にぎわいの森整備向上業務体制（案） 里山的管理手法

にぎわいの森
現状の課題/検討事項

- 安全管理面／庭園機能**
- 枯れ枝、枯れ木の増加（支柱撤去の必要性、虫床原因）
 - ▶ 自動散水機能について（雨水貯水浸透機能）
 - ▶ 防虫剤、肥料散布状況について
 - シルバー人材及びGCI実施の植栽管理方針について

R7年度実施予定（案）

- ①安全管理**
- ②庭園機能維持/美しさ(見た目の管理)**
 - 枯れ枝、枯れ木についての原因追究
 - ▶ 植栽の健全化を図る
 - ▶ 植栽管理に関するマニュアル提案
- ③資源の循環、活用**
 - 伐採後の枯れ枝、枯れ木、落ち葉等活用、地域施設（保育園）や農業従事者への展開
- ④市民参画**
 - 植栽管理のコンテンツ化
 - 「共に育てる緑（場所）」へ意識化
- ⑤環境教育と地域への波及**
 - いなべ市全体の里山管理の方向性（ビジョン）提案
 - 市民等の環境意識向上とそれに伴う行動変容を促進

- ★目指す効果(1~3のみ効果測定R9年度まで実施)
- 雨水貯水浸透機能の向上
 - 暑さ指数の低減
 - 施設利用者及び市民のウェルビーイング向上
 - 商業施設としての魅力向上
 - 市内里山管理における市民等の環境意識向上

Inabe Hütte【いなべヒュッテ】
にぎわいの森の木々



いなべ市
 主担当：新産業創造課
 連携：管財課/商工観光課
 ★環境教育と地域への波及
 ※学校教育課/保育課等



市民・企業
 京都産業大学
 東邦レオ(株)

横断的連携

① 評価手法の開発について

各地域（エリア）における現状把握、課題分析及び、定量的評価手法の策定、具体的な目標値を定めた方が、民間事業者及び行政としても進めやすいのではないかと感じる。現状、空論だけで進んでいるように感じる。公共事業/民間事業

② ノウハウの標準化について

③ グリーンインフラが持つ機能のマップ化について

実際の自然環境や流域の見解踏まえ適用可能なかどうか
誰を対象としたノウハウの標準化なのか
ガイドラインとして策定した場合、各地域での汎用性はどうか

④ 中間支援組織の組成・活動への支援について

－ 専門人材派遣支援、実地研修等を希望

グリーンインフラの取り組み推進や展開について、自然環境にアプローチし、市民等のマインド形成まで持っていくには、中長期（5年/10年/20年）的な取り組みとして時間を重ねて進める必要がある。自治体として推進していくにあたっては、どこまで重きをおき価値を見出せるのか、行政職員が意義を感じ、どこまで理解を深められるか…も重要に感じる。また、行政担当課においては、どこか主担当となり、どの担当が進めるかも非常に重要であるように思う。取り組み推進においては、行政のバックアップは不可欠であるため、行政から何かしらの支援を受ける形で、中間支援組織が介在、地域企業や団体-市民-専門家や民間企業とのネットワーク構築を進めながら、継続的な連携支援が可能となる地域スキームの構築が図れるよう、専門人材の派遣及び、実地研修等を希望する。

⑤ グリーンインフラに関連するデータの集約について

- ・他地域での取り組み手法や、連携可能な事業者を知ることができる仕組みづくりについては魅力的であるが、マッチした後の継続的支援（アフターフォロー）や、マッチングをマネジメント（支援）する組織（団体/事務局）の必要性も感じる。
- ・全体の「地域課題」を把握した上で、中長期的にサポート可能なマネジメント人材（団体/組織/企業）が確保できるかも重要であるように思う。
- ・自然体験活動や取り組みにおける、さまざまなリスク（危険動物/植物/災害/天候等）について、意識的に安心・安全が担保できるような、デジタルツールの構築、活用促進ができると良い。＝個々の自然に対するハードルは思った以上に高い

⑥ その他 発信におけるデザイン性